



親の願いが込められた たくさんのよだれかけ

本堂の中には、安産を願う人達の手によって、よだれかけがたくさん奉納されています。安産のお礼でしょうか、こどもの名が書かれたものも。親の愛情とこどもの成長を願う思いが伝わってきます。

多産、安産である犬にあやかり、妊娠5ヶ月めの初めての戌の日に、安産への祈りを込めて帯のお祝いをします。



4 2つ目はピンクのにしようかな...



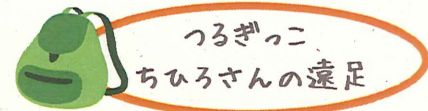
天井にもびっしり!

お安御前でご祈禱してもらった腹帯を巻き、もち肌の可愛い子が生まれますようにとの願いを込めて近しい人に羽二重餅を配ります。

筆者も先日、帯の祝いでちひろさんと一緒に於安御前にお参りましたが、案の定、ちひろさんは、羽二重餅のほうに興味津々でした。(10ページにも関連記事あります)



於安御前本堂



## 於安御前 おやすごぜん (半田宇西久保)

二歳のつるぎっこ ちひろさんが、おすすめスポットを訪ねます。今回は 安産の仏様として名高い「於安御前(おやすごぜん)」です。

大型公園、於安パークが広がる丘陵地の一角に祀られています。徳島県西部で唯一の子授け、安産の仏様で、いまでも安産を願う妊婦さんや乳児を抱いた母親の参拝が多いことで有名です。

国道192号線から、於安パークゆきの看板を頼りに車で走ること10分。お安パークの入口付近、お安御前の縁起が書かれた看板が目印です。つるぎ町半田地区を見渡せる場所に鎮座しています。

旧三月二十四日と十月二十四日が縁日になっていて、妊婦さんや、赤ちゃんを連れた女性の参詣人が列をなし、西地の筏地(於安御前の登り口付近)には市が立つほどだったそうです。半田地区の西地、西山の人々は、寿司や団子を作って参詣人をねぎらったとのこと。昭和二十四、五年までは大変賑やかであったと伝えられています。



本堂入り口から半田地区を望む